

条例指定法人から提出された外部評価結果

- 特定非営利活動法人 ノンラベル・・・・・・・・・・・・ 1～ 5
- 特定非営利活動法人 花山星空ネットワーク・・・・・・・・ 7～10
- 特定非営利活動法人 環境市民・・・・・・・・・・・・ 11～14
- 特定非営利活動法人 加茂女・・・・・・・・・・・・ 15～18

- * 1 条例指定法人のうち、決算月を3月とする法人が、平成26年度の実績報告書類に添付して提出されたもの。
- * 2 特定非営利活動法人あやべ福祉フロンティアについては、京都府知事が指定した評価者である一般財団法人社会的認証開発推進機構による第三者認証（S T E P 3）を取得しているため、外部評価結果の提出を求めていない。
- * 3 特定非営利活動法人フォーラムひこばえについては、平成27年度に条例指定を受けたため、外部評価結果については、平成28年度以降に提出予定。

○参考：条例指定法人の決算月及び毎事業年度の実績報告書類の提出期限等

	法 人 名	所轄庁	決算月	実績報告書類 の提出期限	審査委員会への 報告時期(予定)
1	ノンラベル	京都市	毎年3月	毎年 6月末	毎年9月頃
2	古材文化の会	京都市	毎年9月	毎年12月末	毎年3月頃
3	あやべ福祉フロンティア	京都府	毎年3月	毎年 6月末	毎年9月頃
4	花山星空ネットワーク	京都市	毎年3月	毎年 6月末	毎年9月頃
5	環境市民	京都市	毎年3月	毎年 6月末	毎年9月頃
6	劇研	京都市	毎年8月	毎年11月末	毎年3月頃
7	加茂女	京都府	毎年3月	毎年 6月末	毎年9月頃
8	フォーラムひこばえ	京都市	毎年3月	毎年 6月末	毎年9月頃

※は今回の報告対象

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人ノンラベル
評価者氏名（職名）	春日井 敏之
評価対象期間（年度）	平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合※	
	はい	いいえ
ひきこもり不登校、アスペルガーノー症候群等の児童青少年の支援	99	%
アスペルガーノー症候群の家族等のサポート等の運営	/	%
		%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供→介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

京都市長 門川 大作様

2015年3月31日

立命館大学教授
春日井 敏哉

京都市条例指定「特定非営利活動法人ノンラベル」に関する第三者評価

第三者評価委員として2年目となるが、月例会・総会への参加、事務所訪問による実施事業の状況把握と関係者へのヒアリング、発刊されている書籍、関係書類・資料などの精査を行ってきた。これらに基づき、京都市条例指定「特定非営利活動法人ノンラベル」に関する第三者評価を行い、事業活動の経過、内容、到達点と課題などについて報告する。

1 事業活動の経過

不登校・ひきこもりの子どもを抱える保護者への支援を中心として、「京都ひきこもりと不登校の家族会ノンラベル」(2001年)が設立され、活動がスタートした。その後、保護者への支援だけではなく、保護者や当事者のニーズを受けて、発達の障害・偏り（自閉症スペクトラム）をもつ青年への支援事業の展開を行うようになり、NPO法人格を取得し「特定非営利活動法人ノンラベル」(2008年)となり、「指定福祉サービス事業所」(2009年)の認定を受け、「生活訓練」「就労継続支援B型」の多機能型事業所として事業活動を拡充し、今日に至っている。このような経過をふまえ、14年目を迎えている現在の事業活動は、高機能広汎性発達障害の青年、及び保護者への支援が中軸となっている。

2 事業活動の内容

主たる事業活動は、次の6点に集約される。

① 月例家族会の開催

保護者を対象として、毎月京都で2回実施している。1回は、会員となり事務所に通所している青年の保護者の例会である。もう1回は、会員以外の保護者・青年なども参加できる例会であり、前半は基礎講座による障害特性への理解、後半はグループワークによるコミュニケーション・トレーニングなどを内容としている。なお、東京で毎月1回実施してきた例会は、会員数と必要経費の関係、会場の閉鎖等によって、昨年9月をもって終結となった。しかしその後も、保護者による自主的学習会が継続されており、田井美幸理事長が年1回参加して、継続的な支援を行う予定である。

② 個別支援・コーディネート事業

保護者、青年を対象とした個別面談による支援。月例家族会などの会場や事務所などにおいて、要請を受けて、家族支援や個別支援の計画立案、医療・教育・福祉などの関係機関への接続支援なども行っている。

③ 居場所援助事業

事務所の一室を活用し、青年を対象に毎週2回実施。雑談やゲーム、食事会、お茶会などを通じて、対人関係トレーニングの場となっている。通所してくる青年たちにとって、職員も交えた交流、トレーニングの場として機能している。

④ 「障害福祉サービス」の提供

障害者総合支援法に基づき、京都府より「自立訓練・就労継続支援事業所」としての指定を受けており、「生活訓練」「就労継続支援B型」のサービスを提供している。事務所の2階部分は、青年にとっての仕事場となっており、自立訓練、就労支援の場として機能している。

⑤ 支援者養成事業、研究会・研修会等事業

A S D 支援者養成講座（第16次）の開催、その後の支援者としての力量アップのためのケースカンファレンス、研修会などを開催している。

⑥ 支援者養成機関からの「実習」の受け入れ

大阪保健福祉専門学校、京都医療福祉専門学校に加えて、今年は佛教大学からも、実習生の積極的な受け入れを行っており、支援者養成としての機能を果たしている。

3 事業活動の到達点と課題

一つには、「特定非営利活動法人ノンラベル」の事業活動は、7名の職員によって担われている。保護者への支援と青年への支援は、独自性をもっており、7名の職員で上記6分野に及ぶ幅広い事業活動が展開されていることには、敬意を表するものである。多忙な日常の支援活動のなかで、「精神保健福祉士」の資格を取得した職員が新たに1名誕生し、理事長を含めて3名になったことも特筆に値する。

二つには、特に、現在重点となっている事務所における「障害福祉サービス」の提供は、居場所援助事業の活動と連動して、青年の自立訓練、就労支援の場としての機能を果たしている。この間参加してきた20名余りの青年のなかから昨年までに5名、今年は新た2名が、民間の事業所における就労決定を得てきたことも大きな成果としてあげることができる。

三つには、多様な事業活動の展開が可能となっている背景には、7名の職員だけではなく、会員である保護者、青年自身の当事者としての主体的な参加がみられる。支援を受けているという受け身の存在に留まらず、当事者性を發揮しながら、自分たちで職員とともに事業活動を支えているという姿勢がある。この点は、今年会員等から多額の寄付金が寄せられたことにも表れている。

四つには、登録会員数、諸事業の利用者については、減少傾向が見られる。しかし、この点を逆に支援サービスの充実につなげている点をあげることができる。会員数の減少は、支援の結果、会員が次のステップに移行したことでも示している。支援スタッフの数に応じた無理のない活動を展開することも、継続的な支援事業につながっていくと考えられる。

五つには、「障害福祉サービス」事業として、民間の事業所から受ける仕事の単価について、就労実態に応じた改善が求められる。また、事務所における「障害福祉サービス」事業の経験を経て社会で就労していくために、雇用してくれる事業所の更なる拡充が必要となっている。同時に、雇用の促進とかかわって、「発達の障害・偏り（自閉症スペクトラム）」への理解が、社会的に不十分な状況があり、発達特性として青年を理解して、受け入れていく社会的な土壌を醸成していく必要がある。

以上

《評価対象法人記入欄》

外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
継続的な支援事業につなげるため、支援スタッフの数に応じた無理のない活動を展開すること	利用者の状態等を考慮し、利用者を数グループ（3名～8名）に分け、スタッフが各グループに1～2名配置し、継続的な支援を行っている。 また、今後は就労を視野に入れた企業への見学説明会等に同席し、利用者だけでなくスタッフも就労に向けての視野を広げる活動も行っていく予定。
「障害福祉サービス」に関して、民間の事業所から受ける仕事の単価について、就労実態に応じて改善すること	企業からの依頼作業を重ねることで、信頼関係を構築し、少しずつではあるが単価の高い仕事を請け負っている。 今後は、企業との直接的な請負を目指し、営業活動を行っていく予定。
事務所における「障害福祉サービス」事業の経験を経て社会で就労していくため、雇用してくれる事業所の更なる拡充が必要	就労支援機関への働きかけや、現在つながりのある企業へのPR等を行っている。 ジョブパークと京都ほっとはあとセンターが協働で行っている、「『福祉から雇用』応援事業」への参加・登録を行い、一般就労への移行を促す活動も行っていく。
発達障害を持つ青年を理解し、受け入れる社会的な土壌の醸成	啓発活動として行っている、年に1度の「自閉症スペクトラム障害支援者養成講座」や、関係各所での講演などを通じて、一人でも多くの方に発達障害への理解・認知を促す活動を行っている。 今後はより多くの講演を行っていく予定。

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人花山星空ネットワーク
評価者氏名（職名）	太田耕司（京都大学大学院理学研究科教授）
評価対象期間（年度）	平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に 3 件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 天体観望会事業	35%
事業名 天体観測体験教室事業	25%
事業名 天文科学振興の為の講演会事業	10%

* 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

(1) 活動の意義

この法人が現在最も力を注いでいる基幹事業は、(イ) 天体観望会事業、(ロ) 天体観測体験教室事業、(ハ) 天文学振興の為の講演会事業である。この三事業共、定款の趣旨をよく実践している。また、これら事業への参加者も多く、社会貢献度の高いものであると判断される。

(2) 社会への発信状況

上記の事業の実施に当たっては、会員だけではなくホームページや新聞紙上などで広く一般市民にイベント開催情報を発信しているので、その結果、どのイベントにおいても、会員以外の市民と青少年の参加が大半を占めている。

事業の認知度は年々市民の間に広がりを見せており、宇宙科学・自然科学に親しむ場として、多くの市民や青少年の参加が得られてきていると判断される。

(3) 地域団体との連携の状況

「第8回こども飛騨天文台天体観測教室」に京都市教育委員会および京都府教育委員会の後援を受け、また逆に宇宙落語制作委員会の「第3回宇宙落語会」を後援するなど、26年度においても、他団体と積極的に連携している様子がうかがえる。また、法人会員募集ポスターを製作するに当たり、京都芸術デザイン専門学校に依頼して、学生の卒業研究の一つとして製作された作品を採用したり、第50回花山天体観望会「名月と名曲」において、京大の学生邦楽演奏クラブである「御風会」に天文台屋上での演奏を依頼するなど、大学や専門学校学生との交流を意欲的に行なったことも評価できる。

(4) その他所感

全体的に非常に活発に事業を展開しており、今後の活動も期待される。一層の発展を願って、若干の所感を記載すると、中長期的計画のより一層の具体案の検討をされては如何か、また千年街道事業はもう少し参加者を増やす工夫はできないものか、という感想を持った。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

(1) 財務管理の透明性

第8回通常総会で承認された26年度の事業報告書、会計収支計算書、財産目録、貸借対照表がホームページ上に公開されており、透明性が保たれている。

(2) 組織体制の状況

(イ) 理事会の開催について

平成26年度には、第29回(26年4月8日(火))及び、第30回(26年12月17日(水))と、2回の理事会が開催され、議事録も作成されており、理事会は正常に機能しているといえる。

(ロ) 総会の開催について

平成26年度には、第7回通常総会(26年5月11日(日))が、書面表決者を含む過半数の正会員が出席して開催され、理事会提案の3議案が承認可決されている。正式な書式に従った議事録も作成されている。

(ハ) 監事による監査について

通常総会に先立って、2名の監事が会計収支および財産管理に関する監査を実施した上で、その結果を総会で報告している。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
より具体的な中長期的計画の検討	<p>青少年の理科教育に貢献するために (1) 小中高校理科教員を対象にした講習会 「小望遠鏡を用いた天体観測実習」を定期的に 開催することを計画している。</p> <p>市民の生涯学習に貢献するために、 (2) 熱心な会員を中心とした「太陽黒点・フレア 一観測ネットワーク」の構築を計画している。</p>
「千年街道事業」の参加者を増やす工夫	<p>(1) リピーターを増やすために、新しい コースの開発を進めている。</p> <p>(2) リピータを増やすために、その時々でホット な天文学の話題を取り上げて、わかり易く解説 する「アストロトーク」を、京都大学博物館で 開催している。</p>

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人環境市民
評価者氏名（職名）	折田泰宏氏（弁護士）、宗田好史氏（京都府立大学教授）
評価対象期間（年度）	平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に 3 件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合※
事業名 環境首都創造プロジェクト	40%
事業名 グリーンコンシューマー・グリーンウォッシュ防止プロジェクト	30%
事業名 市民の発信で社会を変えるプロジェクト	10%
事業名 エコロジカルな次世代を育むプロジェクト	10%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
---	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

NPO法施行以来、京都府でも多くのNPOが生まれたが、現在でも継続して精力的な活動ができるところは多くはない。環境市民は、継続的にかつ発展的に活動を続けてきたという点で評価できる。

意見・提案事項

- ① 環境NGOを取り巻く外部環境が変化している中で、設立当初とは異なった戦略的活動展開が求められている。環境市民が重視して取り組んできたアドボカシーについても、だれにどのように伝えるのか、という視点が重要である。自治体だけでなく、企業や住民、観光客などターゲットのニーズを把握したえうで、具体的な活動が必要だろう。
- ② 学生へのアプローチとして、学生の志望先（民間企業だけでなく公務員も含め）に応じた環境就職のマッチングができるのではないか。
- ③ グリーンコンシューマー活動で培った専門性を活かし、京都の飲食店やスーパーのエコロジカル度をWEBで情報発信するような、地域への貢献とニーズに対応した活動などは社会へのインパクト及び、活動資金の獲得の可能性という点でも、大きいと考えられる。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

法人の事業活動、組織運営等に関する状況（事業計画等の策定、基幹事業の実施、定款に基づく適正な意思決定、監事による監査、情報公開、法令遵守、外部評価の実施）については適正に行われていると評価できる。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
環境NGOを取り巻く外部環境が変化している中で、設立当初とは異なった戦略的活動展開が求められている。環境市民が重視して取り組んできたアドボカシーについても、だれにどのように伝えるのか、という視点が重要である。自治体だけでなく、企業や住民、観光客などターゲットのニーズを把握したうえで、具体的な活動が必要だろう。	今年度から、アドボカシーのための基本的な姿勢、考え方、スキルなどについて体系的に学ぶことができるプログラムを、他のNGOとともに立ち上げた「あどぼの学校」実行委員会で作成している。当該プログラムづくりに積極的に参画しながら、当団体のターゲットの明確化、影響力をもつアドボカシー手法を磨いていきたい。
学生へのアプローチとして、学生の志望先（民間企業だけでなく公務員も含め）に応じた環境就職のマッチングができるのではないか。	大学生を主なターゲットとして、環境系の企業、行政、NPO等への就職のマッチングを行う「環境先進地域で働こう！地域×学生・人々のマッチングプロジェクト」を、京都市内にある大学、環境首都創造ネットワーク会員自治体と協働で今年度実施したいと考えている。
グリーンコンシューマー活動で培った専門性を活かし、京都の飲食店やスーパーのエコロジカル度をWEBで情報発信するような、地域への貢献とニーズに対応した活動などは社会へのインパクト及び、活動資金の獲得の可能性という点でも、大きいと考えられる。	今年度から「環境を主とした『持続可能な消費』行動を具現化するための全国ネットワークによる啓発、調査、企業との交流活動、ウェブサイトとアプリを用いた消費者への情報提供活動」を向こう3年計画で開始した。スーパーマーケットの商品調査等を行うとともに、推奨できる製品サービスの基準づくり及び適合商品のWEBサイトを用いた情報発信を行う計画である。できるだけ多くのニーズにも適うアウトプットができるようにしたい。

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 加茂女
評価者氏名（職名）	藤井 透（同志社大学教授）
評価対象期間（年度）	平成26年度（平成26年1日～平成27年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	☑	□	✓	□
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	☑	□	✓	叙口

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
☑	□	✓	□

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 竹林整備活動と筍利用	60%
事業名 ミニコミ誌発行と配布	25%
事業名 アルミ缶回収事業と寄付	15%

* 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	☑	□	✓	□
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	☑	□	✓	□
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	☑	□	✓	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	☑	□	✓	□
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	☑	□	✓	□
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	☑	□	✓	□

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	△	□	✓	□
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	△	□	△	□
監事は定款に定める職務を執行しているか。	△	□	△	□
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	△	□	△	□

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	△	□	✓	□
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	△	□	△	□
法定の閲覧審査類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	△	□	△	□
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫して作成されているか。	△	□	△	□

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令を把握し、遵守しているか。	△	□	△	□
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	△	□	△	□

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供→介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	△	□	△	□
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	△	□	△	□

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

1)

「加茂女」の活動は南加茂台ニュータウンに引っ越してきた女性たちが集まり、自分たちの生活向上のために出来たサークルであったと聞いたが、アルミ缶回収をし、その売上金を社会福祉協議会に寄付する他、毎月1回4500部発行の「加茂女つうしん」などミニコミ誌で情報発信をし続けて、地域活動に貢献してきた30年であると評価する。

2)

放置竹林整備などの環境保全運動を始め、伐採竹の活用で「筍お焼き」や「筍するめ」「筍ジャム」「筍ジェラート」等々の目新しい筍の食べ方の研究開発に取り組み、竹製品を食器にしてのランチやカフェ運営に取り組むなど、今や竹の利用発信基地にまでなっている。

3)

また、竹や筍を市の特産物にする活動を展開する中で、市のボランティア活動拠点的な地位になり、他の団体の相談業務を受け持つなど、市にとってなくてはならない存在になって来ている。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

1)

事務員が常駐し、日々の金銭の出し入れについても適正に管理されている。

2)

毎月1回行われている理事会で活動方針が決められていて透明性も確保されている。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定

備考（審査委員会のコメント）

--